

## 第 2 回浜田市総合振興計画審議会 【意見の要旨】

日時 平成 27 年 5 月 21 日(木)

午後 2 時～午後 4 時

場所 浜田市役所 (4 階) 講堂

2 議題	
(1) 元気な浜田づくり市民委員会の開催結果について(速報)について	
玉置委員	100 人委員会に参加し、楽しく有意義な時間を過ごさせて頂いた。地元のコーディネーターが市民会議を土台に積み上げるプロセスを評価している。作業では、626 の付箋を手作業で一つ一つ分類したことは、意図を微妙にかき分け、丁寧に丹念な仕事をされたことに大変感心している。
企画係長	今回、速報として 7 つの分野に分けて頂き、具体的な取り組みについても意見をまとめてもらった。この結果は、基本構想や基本計画の骨子案とし、次回以降で審議会の皆さんの意見も頂きながら練りあげていきたい。
来原委員	市民意見を反映したものと理解するが、これは今後公開されるのか。
企画係長	今日は速報だが、最終的な報告書も委員の皆さんや、ホームページでも公開させて頂く。100 人委員会の様子もホームページにアップしたい。
花田委員	100 人委員会は年齢制限があって大人の意見を聞く会だったが、高校卒業して出て行く前の子どもたちの意見を聞きたい。
地域プロジェクト推進室長	資料 5 のように、アンケートやヒアリングを行う予定で、対象者は今のところ中学校・高校、県立大学の学生などとし、意見を吸い上げたい。
佐々木大輔委員	正直この結果は物足りないと思っているが、10 年後にこうなってほしいというのが資料 1 ということでいいか。そうならば、数値目標の話は出たのか。
シマネプロモーション社長	個別にはあったと記憶しているが、参加者に数値目標の問いかけは少しレベルが高いと思い、小テーマ設定時にこれくらいで留めた。
佐々木大輔委員	100 人委員会をもう 1 回開催するのは難しいか。数値目標の意見を言いたい方がいたはずだと思っており、なるべく吸い上げた方がいいと思う。
企画係長	3 回目の開催は予定していない。開催には制度設計をもう一度練り直さなければいけないので、検討させて頂きたい。
地域政策部長	100 人委員会では個人の意見を自由に言って頂き、それをまとめた。最終的には審議会の皆さんに数値目標等を出して頂きたいと思っている。
(2) 協議項目について	
佐々木玲慈委員	キャッチフレーズは、100 人委員会の説明で「浜田に住み続けたい」とあったが、やはり「住みたいまち」といった分かりやすいものの方がいいと思う。
木村委員	私は三隅の地域協議会をまとめて意見しなければいけない。地域協議会は市民の意見を聞く場として大きな要素なので、団体として聴取してほしい。10 年の総合振興計画を作るので、現行計画の評価が序章にいると思う。それを踏まえれば、自ずと構成が出てくると思う。
地域プロジェクト推進室長	団体代表の委員には、意見を吸い上げてほしいので、時間、期日を定めて意見聴取をさせて頂きたい。地域協議会は、別途意見を聞きに出かけていくことで対応させて頂きたい。
企画係長	平成 26 年度の評価は近々公表したい。次の計画にこれまでの評価をどう表現するかは検討したい。

木村委員	中期財政計画という指標を示しており、これとの整合性が必要になるが、財政計画を改定するのか。
地域政策部長	総合振興計画は12月に議決を受けるため、平成29年度策定の中期財政計画に反映することになる。
玉置委員	「部門別計画」は6部門あるが、「環境」は「自然環境」と「生活環境」に分けた方がよいと思う。「安全」は色んな安全があり、安心と安全とは違う。「市民活動・定住」も、「市民活動」と「定住」は切り離した方がいい。定住は、色々な分野が関係するので、構成を再考して頂きたい。
槇岡委員	100人委員会の全ての意見は実行できないが、どれをいつ頃までにやろう、というようにすべき。地域性を持たせて進めることも必要だと思う。 100人委員会の意見は、やっていること、やっただができないこともある。行政だけ地元だけではできないので、協力し合いながら進める必要がある。
佐々木玲慈委員	① 資料4のように、15歳未満と65歳以上の人口を市民に一目瞭然に分かるように示してほしい。 ② 島根県の人口は1920年に71万人で2010年にも71万人。働く場所と、住む場所の開発を両方やるより、住むところに特化して環境整備し、働く場までの時間的な距離を縮めるインフラ整備が必要だと思う。 ③ 分かりやすい計画にすれば、市民と協働の形がとれると思う。
地域プロジェクト推進室長	人口資料は、年代別やピラミッドの様子、転入の状況が分かれば政策も考えやすいというご指摘だと思うので、次回はそのような資料を提示したい。
村井委員	地元の高校を出た人が、浜田で家庭を持って子育てできるまちづくりを進めてほしい。長男には家や土地もあるが、二男は自分で家を建てなければならず都会に出てしまうので、二男、三男も居付けるような優遇策も大切だと思う。UIターン者支援も必要だが、人口流出を防ぐのが一番大事だと思う。
玉置委員	シングルペアレント介護人材確保事業は、ユニークなアイデアで反響が多かったと聴くが、こういう施策をもっと出して頂きたい。 人口推計は、単に一家庭が3名増え、子どもを育てたシミュレーションだが、問題のIターン者の目標値は、それらも総合して目標値を出されるのか。
西井委員	私の地域では自治会がなく、困った時に誰に相談するのか、地域リーダーがいるのか心配する。子どもと接する仕事をしており、リーダーになる子がない状態を見ていると、もっと基本的な所で考える必要があると思う。
会長	今の発言を聞いていると、自治区別計画は浜田でも必要なのではないかと私は印象を受けた。
来原委員	数値目標の一番のキーワードは「人口」だと思う。人口を出生率だけで計り、産むのを増やすというのは個人の問題もあるので難しい問題だと思う。
柿元委員	① 現在のキャッチフレーズは、浜田以外でも青い海がきれいで緑の大地もある。「地域とともに生きる」とか「家族とともに育つ」、「市民とともに育つ浜田市」という感覚もいいと思う。 ② 私はIターン者で、浜田市金城町に住んでいるが、浜田市に住んでいない気がする。浜田、三隅、旭、弥栄のことは他人事に感じる。自治区制度のいいところは残し、市全体の一体感のある政策もあっていいと思う。 ③ 浜田市の市街地はどちらかというと都会で、金城町とかは自然が溢れる田舎で二面性がある。市街に呼び込む人と自然を好む人、多様な感覚が増えているので、移住者への選択肢を増やした方がいいと思う。

(午後4時閉会、所要時間2時間)